

2014年度

# 線型代数学演習 A

## No. 2 問題

2014年4月28日実施

1 以下の3次複素数ベクトルを考える.

$$\mathbf{x}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ -i \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{x}_2 = \begin{pmatrix} i \\ 0 \\ 2+i \end{pmatrix}, \mathbf{x}_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ i \\ 1+i \end{pmatrix}, \mathbf{x}_4 = \begin{pmatrix} 1-i \\ -i \\ 1-i \end{pmatrix}.$$

- (1)  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2, \mathbf{x}_3$  は  $\mathbb{C}$  上一次独立であることを示せ.
- (2)  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_3, \mathbf{x}_4$  が  $\mathbb{C}^3$  を  $\mathbb{C}$  上生成しないことを,  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_3, \mathbf{x}_4$  の一次結合で表すことができない複素数ベクトル  $\mathbf{x} \in \mathbb{C}^3$  を1つ (根拠を添えて) 与えることにより示せ.

2  $a, b$  を複素数とし, 以下の4次複素数ベクトルを考える.

$$\mathbf{x}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \mathbf{x}_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \\ a \end{pmatrix}, \mathbf{x}_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ a \\ 0 \end{pmatrix}, \mathbf{x}_4 = \begin{pmatrix} 1 \\ b \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}.$$

- (1)  $a$  がどのような複素数であっても,  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2, \mathbf{x}_3$  は  $\mathbb{C}$  上一次独立であることを示せ.
- (2)  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2, \mathbf{x}_3, \mathbf{x}_4$  が  $\mathbb{C}$  上一次従属となるための  $a, b$  に関する必要十分条件を求めよ.

- 3 (1)  $\alpha_1, \alpha_2$  を相異なる複素数,  $f(x), g(x)$  を高々1次の複素係数多項式で,  $f(1)g(0) \neq f(0)g(1)$  が成り立つものとし,  $\mathbf{x}_1 = \begin{pmatrix} f(\alpha_1) \\ g(\alpha_1) \end{pmatrix}, \mathbf{x}_2 = \begin{pmatrix} f(\alpha_2) \\ g(\alpha_2) \end{pmatrix} \in \mathbb{C}^2$  とする. このとき,  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2$  は  $\mathbb{C}$  上一次独立であることを示せ.
- (2)  $\alpha_1, \alpha_2, f(x), g(x)$  は小問(1)の条件をみたすものとする. そして,  $\beta$  を複素数,  $h(x)$  を高々1次の複素係数多項式とし,  $\mathbf{y}_1 = \begin{pmatrix} f(\alpha_1) \\ g(\alpha_1) \\ h(\alpha_1) \end{pmatrix}, \mathbf{y}_2 = \begin{pmatrix} f(\alpha_2) \\ g(\alpha_2) \\ h(\alpha_2) \end{pmatrix}, \mathbf{z} = \begin{pmatrix} f(\beta) \\ g(\beta) \\ h(\beta) \end{pmatrix} \in \mathbb{C}^3$  とする. このとき,  $\mathbf{z}$  が  $\mathbf{y}_1, \mathbf{y}_2$  の一次結合として表されることを, その係数を  $\alpha_1, \alpha_2, \beta$  を用いて表すことにより示せ.